学校番号	1302

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）実用国語Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実用国語Ⅱでは、検定(漢字能力検定・日本語検定・論理言語力検定)の検定課題への取り組みを通じて、各検定に合格するために必要な技能や日常で活用している語句・語彙について学習します。また、就職試験・入学試験に必要な読解問題の応用や入学願書などで必要な作文についても学習します。国語が得意ではない生徒でも安心して勉強できるよう工夫していますので、前向きな気持ちで授業に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【ａ　知識及び技能】
・各種検定試験の問題演習を通し、実用的な語彙力を育む。
【ｂ　思考力・判断力・表現力等】
・獲得した語彙を用いて読解力・文章力を身につける。
【ｃ　学びに向かう力・人間性等】
・獲得した語彙や文章力を場面に応じて活用するなど、検定受験につなげようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	ａ　知識・技能	ｂ　思考・判断・表現	ｃ　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種検定試験合格レベルの漢字・ことわざ・四字熟語等の基礎的事項を理解している。実用的な語句の意味や用例を理解し、それを実生活の中で活用できる。	基礎的な語句を用いて短文を作るなど、実用的な表現力が身についている。場面や状況によって同じ語句でも意味が異なることを理解し、場面によって適切な語彙で表現をできる。	ひとつひとつの言葉が歴史の中で培われてきたということを理解し、それぞれの言葉に対して関心を持っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字・ことわざ・四字熟語 ［教材］ 日本語検定	a：問題演習を通して、基礎的な熟語の知識を習得している。 b[書]：基礎的な語句を用いて短文を作るなどして、生徒の実用的な表現力が身についている。 c：自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。日本語に対し興味をもち、積極的に活用しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	振り返りシート 取り組み
	論理的に文章の作成 ［教材］ 論理言語力検定	a：日本語の特徴や文法事項などを理解している。 b[書]：語順や比喩表現に注意をし、論理的に表現している。 c：自己の学習を振り返り、成果や課題を派遣できる。日本語に対し興味をもち、積極的に活用しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	振り返りシート 取り組み
二学期	語彙力・短文理解 ［教材］ 論理言語力検定	a：新聞などに掲載されている語句を理解している。 b[読]：様々な新聞記事を読み自分なりの意見をもち、それを客観的な立場から表現している。 c：社会で使われている言葉について興味をもち、それらを活用しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	振り返りシート 取り組み
	漢字・ことわざ・四字熟語 ［教材］ 日本漢字能力検定	a：問題演習を通じて、中学校卒業程度の漢字力を獲得している。 c：自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。漢字やことわざに興味をもち、積極的に活用しようとしている。	定期考査		振り返りシート 取り組み
三学期	日本語の聴解・文法・短文理解 ［教材］ 日本語検定	a：基礎的な文法事項について理解している。 b[話／聞]：様々な会話文を聴き、メモをとるなどし、会話の流れを把握する工夫をする。 c：自己の学習を振り返り、成果や課題を発見できる。日本語に対し興味をもち、積極的に活用しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	振り返りシート 取り組み

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　２５　）時間